

2025 年 12 月 18 日  
株式会社 キューデン・インターナショナル  
九州電力株式会社

### エジプト・アラブ共和国 太陽光発電・蓄電池事業に参画します

— 九電グループ初の北アフリカにおける電力事業展開により、脱炭素社会の実現に貢献 —

九電グループである株式会社キューデン・インターナショナル（以下、キューデン・インターナショナル）は、アラブ首長国連邦を拠点にカーボンニュートラルの実現を目指す AMEA Power 社（以下、AMEA 社）※<sup>1</sup>と共同で、エジプト・アラブ共和国（以下、エジプト）における太陽光発電及び蓄電池事業（以下、「本事業」）に参画いたします。本事業は、AMEA 社が 60%、キューデン・インターナショナルが 40%を出資し、エジプトのアスワン県に 1,000MW の太陽光発電所と 600MWh の蓄電池システムを建設します。

本件は、九電グループで初めてとなる北アフリカにおける電力事業展開であり、今回の参画により海外発電事業の持分出力は約 278 万 kW※<sup>2</sup>となります。

本事業は、国際金融公社（IFC）の主導のもと資金調達を行い、イタリア預託貸付公庫（CDP）、オランダ開発金融公庫（FMO）、ドイツ投資開発公社（DEG）、英国国際投資公社（BII）、OPEC 開発基金、ヨーロッパ・アラブ銀行（EAB）※<sup>3</sup>などの国際パートナーからの資金が含まれております。

エジプト政府は、電源構成のうち再生可能エネルギー由来の発電を 2030 年までに 42%に拡大する目標を掲げています。九電グループは、これまで培った高い技術力や豊富な経験を活用し、世界各国で更なる事業展開を進め、「九電グループ経営ビジョン 2035」及び「九電グループ カーボンニュートラルビジョン 2050」の実現に向けて、引き続き挑戦してまいります。

#### [事業概要]

所在地	エジプト・アラブ共和国アスワン県アスワン市
設備概要	太陽光 1,000MW + 蓄電池 600MWh
売電先	エジプト送電公社 (Egyptian Electricity Transmission Company)
株主構成	AMEA 社 60%、キューデン・インターナショナル 40%

※1 アラブ首長国連邦 AMEA 社と再エネやグリーン水素分野での協業に関する覚書を締結  
([2025 年 6 月 4 日お知らせ済](#))

※2 営業運転前の参画案件を含んだ値

※3 国際金融公社 (IFC) : International Finance Corporation  
イタリア預託貸付公庫 (CDP) : Cassa Depositi e Prestiti  
オランダ開発金融公庫 (FMO) : Dutch Entrepreneurial Development Bank  
ドイツ投資開発公社 (DEG) : Deutsche Investitions- und Entwicklungsgesellschaft  
英国国際投資公社 (BII) : British International Investment  
OPEC 開発基金 : OPEC Fund for International Development  
ヨーロッパ・アラブ銀行 (EAB) : Europe Arab Bank

以 上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」  
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。  
それが、私たち九電グループの思いです。